# ダイワ／バリュー・パートナーズ・チャイナ・イノベーター・ファンド
# 2018年11月末の組入状況について

※当資料は、バリュー・パートナーズ香港リミテッドが提供するデータ等を基に大和投資信託が作成したものです。

2018年12月13日

平素は「ダイワ／バリュー・パートナーズ・チャイナ・イノベーター・ファンド」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。
当ファンドの2018年11月末の組入状況について、お伝えいたします。

## ≪基準価額・純資産の推移≫

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

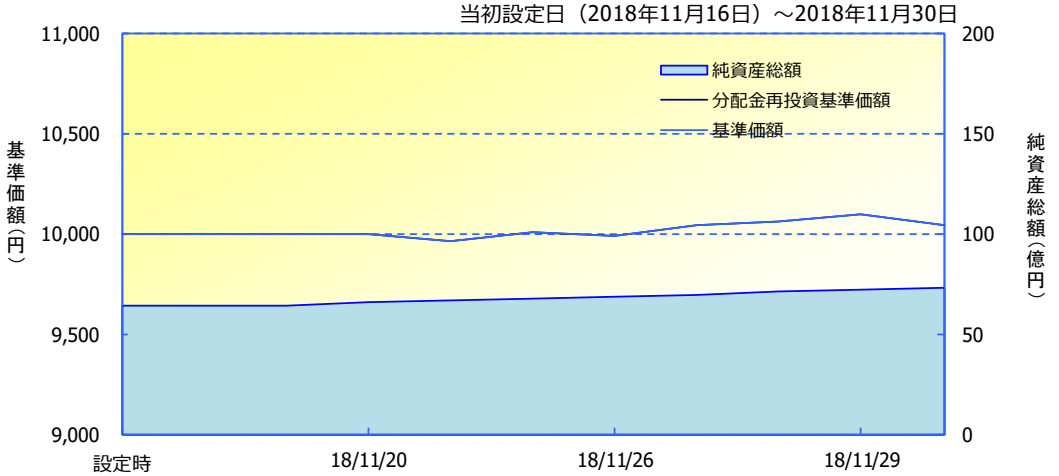
2018年11月30日現在

| | |
|---|---|
| 基準価額 | 10,041 円 |
| 純資産総額 | 72億円 |

### 期間別騰落率

| 期間 | ファンド |
|---|---|
| 1カ月間 | ----- |
| 3カ月間 | ----- |
| 6カ月間 | ----- |
| 1年間 | ----- |
| 3年間 | ----- |
| 5年間 | ----- |
| 年初来 | ----- |
| 設定来 | +0.4 % |

当初設定日（2018年11月16日）～2018年11月30日




※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。
※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。
※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

## ≪主要な資産の状況≫

※比率は、純資産総額に対するものです。

組入ファンド　合計96.5%

| 運用会社名 | ファンド名 | 比率 |
|---|---|---|
| バリュー・パートナーズ香港リミテッド | ﾊﾞﾘｭｰ･ﾊﾟｰﾄﾅｰｽﾞ･ﾁｬｲﾅAｼｪｱ･ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ･ﾌｧﾝﾄﾞ･ｴｽﾋﾟｰ(ｸﾗｽZ)* | 96.5% |
| 大和証券投資信託委託 | ダイワ・マネーアセット・マザーファンド | 0.0% |

*ファンド名は略称です。ファンドの詳細については、「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

**当資料のお取り扱いにおけるご注意**
■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。
販売会社等についてのお問い合わせ⇒　大和投資信託　フリーダイヤル0120-106212（営業日の9:00～17:00 ）　HP http://www.daiwa-am.co.jp/

大和投資信託
Daiwa Asset Management

運用概況

当ファンドにおいては、11月16日のファンド設定日以降、投資対象とする外国投資証券（投資対象ファンド）の買付を実施し、速やかに投資割合を高位に引き上げました。

また、投資対象ファンドでは、前述の当ファンドの買付を受けて運用を開始し、11月末時点でファンド純資産総額に対して約20%の株式の買付を実施しました。この背景として、中国株式市場は、米中間の貿易摩擦問題を巡るニュース等に振らされて足元でも不安定な動きが続いており、市場環境をにらみつつ慎重にポートフォリオの構築を進めることが適切と判断したことが挙げられます。個別銘柄としては、イノベーション関連企業の中でも消費関連、金融、ヘルスケア、コミュニケーション・サービス等の分野で優れた技術や高いマーケットシェアを持つ、リーティング・カンパニーを中心に投資を行いました。これらの銘柄は、それぞれの業界でトップクラスの技術やイノベーション能力を誇るだけでなく、不透明感が漂う市場環境を鑑み、外部環境による影響を受けにくく安定した収益の確保を期待できる企業を厳選しました。

≪バリュー・パートナーズ・チャイナAシェア・イノベーション・ファンド・エスピー（クラスZ）の資産構成≫　※比率は組入ファンドの純資産総額に対するものです。

※以下の資産構成は、バリュー・パートナーズ香港リミテッド の提供するデータを基に大和投資信託が作成したものです。

資産別構成

| 資産 | 銘柄数 | 比率 |
|---|---|---|
| 株式 | 24 | 20.5% |
| 現金等 | --- | 79.5% |
| | | |
| | | |
| 合計 | 24 | 100.0% |

業種別構成　合計100.0%

| 業種名 | 比率 |
|---|---|
| 金融 | 6.2% |
| 一般消費財・サービス | 5.0% |
| 資本財・サービス | 2.1% |
| ヘルスケア | 2.0% |
| コミュニケーション・サービス | 2.0% |
| 情報技術 | 2.0% |
| 生活必需品 | 1.2% |
| 現金等 | 79.5% |

市場別構成　合計100.0%

| 市場名 | 比率 |
|---|---|
| 上海市場 | 9.9% |
| 深セン市場 | 4.6% |
| 香港市場 | 3.0% |
| 米国市場 | 2.0% |
| 台湾市場 | 0.9% |
| 現金等 | 79.5% |

通貨別構成　合計100.0%

| 通貨名 | 比率 |
|---|---|
| 米ドル | 79.5% |
| 中国人民元 | 9.8% |
| 香港ドル | 4.9% |
| 日本円 | 4.8% |
| 台湾ドル | 0.9% |

組入上位10銘柄　合計14.3%

| 銘柄名 | 種別 | 業種名 | 比率 |
|---|---|---|---|
| Alibaba Group Holding Ltd | ADR | 一般消費財・サービス | 2.0% |
| China Merchants Bank Co Ltd | 中国A株 | 金融 | 2.0% |
| Ping An Insurance Group Co of China Ltd | 中国A株 | 金融 | 1.9% |
| Jiangsu Hengrui Medicine Co Ltd | 中国A株 | ヘルスケア | 1.5% |
| Tencent Holdings Ltd | H株 | コミュニケーション・サービス | 1.5% |
| Midea Group Co Ltd | 中国A株 | 一般消費財・サービス | 1.4% |
| Inner Mongolia Yili Industrial Group Co Ltd | 中国A株 | 生活必需品 | 1.2% |
| Luxshare Precision Industry Co Ltd | 中国A株 | 資本財・サービス | 0.9% |
| Taiwan Semiconductor Manufacturing Co Ltd | 台湾株 | 情報技術 | 0.9% |
| Gree Electric Appliances Inc of Zhuhai | 中国A株 | 一般消費財・サービス | 0.9% |

※業種名は、原則としてS&PとMSCI Inc.が共同で作成した世界産業分類基準（GICS）によるものです。
※種別は、バリュー・パートナーズ香港リミテッドの分類によるものです。

市場環境

中国株式市場は当該期間（11月16日～11月29日）、中国A株市場の代表的な指数であるCSI300指数は軟調に推移した一方、香港株市場の代表的な指数である香港ハンセン株価指数は上昇しました。中国A株市場では、米中間の貿易摩擦の影響等から中国経済の減速懸念が投資家心理への重しとなったほか、原油価格の下落などが嫌気されました。一方で、香港H株市場は、米国の利上げペースの鈍化観測や、G20（主要20カ国・地域）サミットを前にした米中貿易協議の進展期待等により、上昇基調となりました。

中国人民元は、パウエルFRB（米国連邦準備制度理事会）議長による利上げについてややトーンダウンした発言等を受け、対円で上昇しました。香港ドルは、米中貿易協議に対する期待などを背景に市場のリスク選好姿勢が強まり、対円で上昇しました。

今後の見通し

足元では中国株式市場は不安定な動きが続いていますが、中国政府は株式市場の安定化を図る政策等を相次いで発表しており、下値余地は限定的と見ています。CSI300指数の向こう12ヶ月の予想PER（株価収益率）は過去5年平均の12.6倍を下回っており、11倍前後という歴史的な低水準に近づいています。また、MSCIグローバル指数において中国A株の組入比率の大幅な引き上げが検討されているとの報道のほか、中国の年金基金や保険会社、理財商品（中国国内で販売されている資産運用商品）等を通じた長期的な投資家資金の流入なども、株式市場の安定化を図るものと見られます。

中長期的な視点からは魅力的な銘柄を割安に買い付けることができる良い投資機会だと考えます。その主な理由として、以下の2点が挙げられます。

① 中国企業は、総じて財務リスク低減のために負債比率の引き下げを進めてきたほか、米中間の貿易摩擦等の影響を受けて株価の軟調推移が続いているため、バリュエーション面で割安感が強まっていること。

② 米中貿易摩擦が短期間のうちに解決されるとは予想し難いものの、世界経済を牽引する経済大国同士の全面的な貿易戦争に発展する可能性は低いと考えられること。

短期的には、外部環境による株式市場への影響は見込まれるものの、中長期的に良好なパフォーマンスをあげるためには、企業のファンダメンタルズ分析が最も重要なプロセスだと考えます。特に、ポートフォリオ構築の初期段階においては、中国のイノベーション関連企業の中でも安定した収益基盤、優れた技術、合理的なバリュエーションを備えた企業を中心に組み入れることが、パフォーマンスに寄与するものと考えます。また、外部環境が徐々に安定していくのに従い、企業の成長性等などを加味したポートフォリオの構築を進める予定です。

# ダイワ／バリュー・パートナーズ・チャイナ・イノベーター・ファンド

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

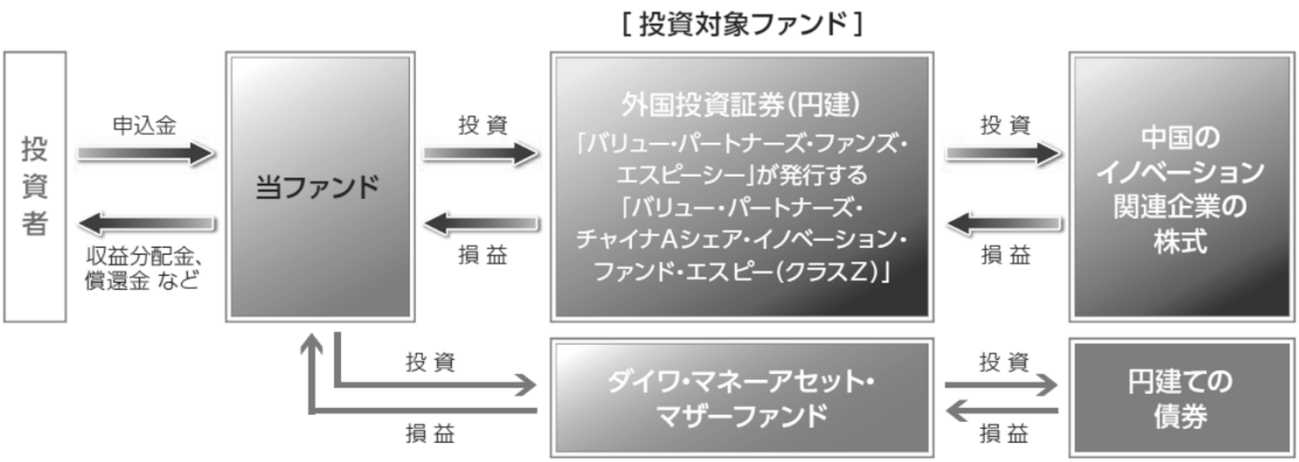
## ファンドの目的・特色

ファンドの目的

中国のイノベーション関連企業の株式に投資することにより、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

1. 中国のイノベーション関連企業の株式に投資します。
   ※株式にはDR（預託証券）を含みます。
   当ファンドにおける中国のイノベーション関連企業とは、以下①～④のうち、テクノロジー関連ビジネス、消費関連サービス、ヘルスケアビジネス、金融ビジネスなどの分野で革新的な企業をいいます。
   ①中国に主たる拠点を有している企業
   ②中国国内の株式市場に上場している企業
   ③収益の大部分を中国であげている企業
   ④主たるビジネスを中国で行なっている企業
2. 中国株式の運用はバリュー・パートナーズ香港リミテッドが行ないます。
3. 当ファンドは、以下の２本の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。
   外国投資証券を通じて、中国のイノベーション関連企業の株式に投資します。




- 当ファンドは通常の状態で、投資対象とする外国投資証券への投資割合を高位に維持することを基本とします。
- 為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

# ダイワ／バリュー・パートナーズ・チャイナ・イノベーター・ファンド

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

## 投資リスク

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「株価の変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「集中投資のリスク」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」
※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。
※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

**［中国A株投資に関する留意点］**（2018年8月末現在）

- 上海と香港、深センと香港の株式相互取引制度（ストックコネクト）を通じた中国A株への投資においては、取引額や取引可能日の制約、長期にわたって売買停止措置がとられる可能性などにより、意図した通りの取引ができない場合があります。また、中国A株への投資の条件や制限は、今後、中国当局の裁量などにより変更となる場合があります。そのような場合、ファンドの基準価額に影響を与える可能性があります。
- QFII制度を通じた中国A株への投資においては、一定期間の中国国外への送金にかかる制限が設けられており、その後の中国国外への送金および中国国内への入金についても一定の制限があります。RQFII制度を通じた中国A株への投資においても同様の規制や制限等の影響を受ける場合があります。
- 株式相互取引制度やRQFII制度における取引通貨はオフショア人民元となり、中国全土における人民元の為替レートの値動きとは乖離する場合があります。そのような場合、ファンドの基準価額に影響を与える可能性があります。
- 中国政府当局は、その裁量で中国の外貨収支残高状況等を理由とした政策変更等を行ない、中国国外への送金規制や円と人民元の交換停止などの措置をとることができます。その場合には、信託財産における円と人民元の為替取引が予定通り行なえない可能性があります。
  中国の証券関連投資の法令は近年制定されたものが多く、その解釈は必ずしも安定していません。中国国内における収益に対し課税されることとなった場合には、当ファンドがこれを実質的に負担する可能性があります。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

# ダイワ／バリュー・パートナーズ・チャイナ・イノベーター・ファンド

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

## ファンドの費用

| 投資者が直接的に負担する費用 | | |
|---|---|---|
| | 料率等 | 費用の内容 |
| 購入時手数料 | 販売会社が別に定める率<br>〈上限〉3.24%（税抜 3.0%） | 購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。 |
| 信託財産留保額 | ありません。 | ― |
| **投資者が信託財産で間接的に負担する費用** | | |
| | 料率等 | 費用の内容 |
| 運用管理費用（信託報酬） | 年率 1.215%<br>（税抜 1.125%） | 運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。 |
| 投資対象とする投資信託証券 | 年率 0.705%程度 | 投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。 |
| 実質的に負担する運用管理費用 | 年率 1.920%（税込）程度 | |
| その他の費用・手数料 | （注） | 監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。 |

（注）「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。
※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

販売会社：大和証券 Daiwa Securities
商号等　大和証券株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第108号
加入協会　日本証券業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用：大和投資信託 Daiwa Asset Management
商号等　大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第352号
加入協会　一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会